# 魚津市文化推進方針（案）

## 文化にふれ、育み活かすまち うおづ

令和８年　月　日

魚津市教育委員会 生涯学習・スポーツ課

# 目次

**魚津市文化推進方針の策定にあたって**～文化をめぐる現状と課題～

1　国の動向

2　富山県の動向

3　魚津市の現状と課題

4　各種団体ヒアリングの動向

5　市民意識調査の動向

**方針の位置づけ**

1　市の計画（第５次総合計画）

2　教育委員会の計画（第３期魚津市教育振興基本計画）

3　方針内容の見直し等

**魚津市文化推進方針について**

1　主旨

2　基本理念

3　本方針における文化の定義

**魚津市文化推進方針の施策の体系**

・魚津市文化推進方針（案）の施策の体系

**魚津市文化推進方針（案）の施策の具体的な取組み**

方針１生涯にわたり身近に文化芸術にふれ、豊かな感性と創造性を育む環境づくり

①優れた文化芸術にふれる機会の充実

②身近な文化芸術鑑賞環境の充実

方針２活動支援や発表・交流の充実による、文化芸術の担い手育成と次世代への継承

①文化芸術を担う人材の育成と次世代への継承

②文化芸術活動への支援の充実

③文化芸術活動の発表と交流の促進

方針３地域資源の保存・継承・活用、学びと魅力発信による地域活力の創出

①ふるさとの歴史や文化財の保存・継承・活用の推進

②博物館の充実と魅力発信の推進

魚津市文化推進方針の策定にあたって～文化をめぐる現状と課題～

## 1　国の動向

国の「第 2 期文化芸術推進基本計画」では、文化芸術の本質的・価値を大切にしながら、観光、福祉、教育、産業等の様々な分野との連携を進め、文化芸術を通じた社会課題の解決や心豊かな暮らし（ウェルビーイング）の実現を目指しています。また、文化芸術に親しむ機会の充実や担い手の育成、文化財等の保存・活用などを推進し、文化芸術の価値を地域社会に広げ、持続可能な地域づくりにつなげていくことが示されています。

（主な出典　文化庁『第 2 期文化芸術推進基本計画』（2023 年 3 月閣議決定））

## 2　富山県の動向

富山県では、県民が身近に芸術文化に親しみ、鑑賞・創造・発表する機会の充実や、子どもたちが文化にふれる機会の創出、文化芸術を担う人材の育成・活動支援を進めています。また、文化財については、地域住民や関係団体等と連携し、保存・継承を図るとともに、デジタル技術等も活用しながら地域の文化資源として積極的に活用・発信し、地域づくりにつなげる取組を推進しています。

（主な出典　富山県『元気とやま創造計画』／『富山県文化振興指針』／富山県教育委員会『富山県文化財保存活用大綱』）

## 3　魚津市の現状と課題

魚津市では、人口減少や少子高齢化が進行する中、地域の担い手不足や地域コミュニティの維持などが課題となっており、将来にわたって持続可能なまちづくりを進めることが求められています。

一方、本市には、ユネスコ無形文化遺産である「魚津のタテモン行事」をはじめ、歴史や伝統文化、文化財、博物館など、地域の魅力を形成する豊かな文化資源があります。これらを適切に保存・継承するとともに、市民が身近に文化芸術にふれ、学び、活動する機会を充実させ、文化芸術を支える人材の育成や活動環境の整備を進めることが重要です。

また、人口減少や担い手不足が進む中、地域の文化や伝統を次世代へ継承していくための取組を強化する必要があります。さらに、文化財や博物館等の地域資源を保存するだけでなく、その価値や魅力を広く発信し、教育、観光、まちづくり等と連携させることで、地域への愛着や誇りを育み、交流の促進や地域活力の創出につなげていくことが求められています。

（主な出典『第 5 次魚津市総合計画　第 12 次基本計画』／『第３期魚津市まち・ひと・しごと創生総合戦略』）

# 4　各種団体ヒアリングの動向

## 1．ヒアリング概要

魚津市文化推進方針の策定にあたり、本市の文化芸術活動の現状や課題、今後の活動に必要とされる支援などを把握するため、文化芸術等に関連する 17 団体を対象にヒアリング調査を実施しました。調査で得られた意見を通じて、各団体の活動における課題やニーズを把握するとともに、今後の文化施策の方向性を検討するための基礎資料とします。

■ 対象団体（計 17 団体）（詳細は別紙）
・魚津市文化協会所属部会（文芸、古典芸能、詩吟剣詩舞、華道、茶道、民謡、近代芸能、日本舞踊、美術）
・伝統文化保存会（たてもん、鹿熊刀踊り、布施谷節、せり込み蝶六）
・歴史同好会、学校長会（小・中学校）、新川文化ホール
■期間　令和８年６月 10 日（水）～７月 31 日（金）

## 2．ヒアリング結果

### ■各種団体の現状と活動における課題

**① 文化活動の担い手不足・高齢化**

多くの団体で会員の高齢化や減少、後継者不足が深刻化している。特に伝統芸能・文化財保存団体においては、このままでは会の存続自体が困難であるとの強い危機感が示されている。

**② 若い世代・子どもへの認知度不足**

高齢世代には活動が認知されているものの、若い世代への普及・浸透が極めて難しい。団体独自の取組みだけでは認知度向上に限界がある。

**③ 活動に伴う費用負担**

発表会等の開催に伴う会場使用料等の費用負担が大きく、活動の継続や、新しい参加者・会員を確保するうえでの課題となっている。

### ■今後の展望と行政（魚津市）に対する支援要望

**① 活動・保管場所の確保**

今後の施設廃止や利用制限を見据え、大型楽器等を常時保管することができ、かつ日常的な練習も十分に行える環境を確保・整備してほしい。

**② 市民文化祭の運営改善**

子どもが伝統文化に触れる契機とするため、学校行事と重複しないよう文化祭の日程を柔軟に調整すべきであり、実施内容や会場内の動線について見直しが必要。

### ③ 次世代継承のための取組への支援

学校訪問や地域での活動を通じて、子どもが伝統文化に触れる機会を再度充実させたい。文化庁の「伝統文化親子教室」事業は申請・報告の事務負担が大きく継続を断念した経緯があり、行政による手続き支援が望まれている。

### ④ 担い手不足に伴う拠点整備と技術伝承

地域の世帯数減少により、地域単独での祭りの維持が困難になりつつある。伝統を受け継ぐための市民向け講座の開設や、機材・道具を常設できる収蔵庫（保存館）の設置が求められている。

### ⑤ 金銭的支援・補助金制度の充実と緩和

新川文化ホールの使用料減免や補助、周年事業への支援の拡充が望まれている。また、形式的な活動費だけでなく、会員間の意思疎通・コミュニケーション（飲食等を含む意見交換）に使える自由度の高い補助金の創設や、一目でわかる「補助金一覧」の提供などを求める意見が多い。

**各種団体ヒアリング実施一覧**

| 日付 | 時間 | 会場 | 団体名（部会名）等 | 代表者等（敬称略） |
|---|---|---|---|---|
| ６月10日(水) | 13:30～14:30 | 教育委員会会議室 | 文化協会 文芸部会　喜見城俳句会 | 代表　川上 弥生 |
| ６月10日(水) | 13:30～14:30 | 教育委員会会議室 | 文化協会 古典芸能部会　箏と尺八の会 | 代表　五十嵐 嘉真 |
| ６月15日(月) | 15:00～16:00 | 教育委員会会議室 | 文化協会 詩吟剣詩舞部会　渓流吟詠会 | 代表　大楠 立紀 |
| ６月17日(水) | 15:00～16:00 | 教育委員会会議室 | 文化協会 華道部会（草月流、小原流） | 文化協会参与　水野 洋子<br>部会長　住吉 峯栄 |
| ６月18日(木) | 15:00～16:00 | 教育委員会会議室 | 魚津市文化協会<br>茶道部会　裏千家淡交会 | 文化協会会長　大愛 康洋<br>代表　井村 栄子 |
| ６月18日(木) | 15:00～16:00 | 教育委員会会議室 | 文化協会 民謡部会　魚津蜃気楼節保存会 | 岡本 広子 |
| ６月22日(月) | 19:00～19:40 | 教育委員会会議室 | 文化協会 近代芸能部会<br>ら・こんせーる・のくちゅーる | 代表　澤泉 維哲 |
| ７月３日(水) | 10:00～10:40 | 教育委員会会議室 | 文化協会 日本舞踊部会<br>藤間流華松会 | 大森 美紀子 |
| ７月８日(水) | 14:00～15:40 | 教育委員会会議室 | 新川文化ホール | 館長　廣田英貴ほか３名 |
| ７月22日(金) | 13:00～13:20 | 本庁会議室 | 魚津市美術協会（文化協会美術部会） | 会長　小池 常男 |
| ７月31日(金) | 11:00～12:00 | 東部中学校 | 中学校長会 | 副会長　東部学校長　有澤祐子 |
| ７月31日(金) | 13:00～14:00 | よつば小学校 | 小学校長会 | 会長　よつば小学校長　長崎 亨 |
| 6月16日（火） | 10時～11時 | 教育委員会会議室 | 魚津たてもん保存会 | 会長 四十万 隆一 |
| 6月22日（月） | 10時～11時 | 教育委員会会議室 | 鹿熊刀踊り保存会 | 会長 杉田 裕次 |
| 6月22日（月） | 14時～15時 | 教育委員会会議室 | 魚津歴史同好会 | 会長 本元 義明 |
| 6月23日（火） | 15時～16時 | 教育委員会会議室 | 布施谷節保存会 | 会長 坂本 光張 |
| 6月24日（水） | 13時～14時 | 教育委員会会議室 | 魚津せり込み蝶六保存会 | 会長 宮坂 新太郎 |
| 計17団体 | | | | |

## 5　市民意識調査の動向

魚津市文化推進方針の策定にあたり、市民の文化芸術に対する意識や関心、活動への参加状況、今後の文化振興に向けて必要とされる取組などを把握するため、市民意識調査を実施しました。

調査で得られた回答を通じて、市民の文化芸術に関するニーズや課題を把握するとともに、今後の文化施策の方向性を検討するための基礎資料とします。

### 市民意識調査の概要

●調査対象　魚津市民、その他魚津市の文化に関心のある方
●調査方法　ＷＥＢから専用サイトにアクセスし回答
（魚津市ＨＰ、ＣＡＴＶ、市広報、市内文化施設等でのチラシ掲示等で周知）
●調査期間　令和８年７月１月～７月 31 日
●調査結果　612 名
（市内在住　207 名、市外県内在住 257 名、県外在住 110 名、その他（不明含）38 名）

### 市民意識調査の結果

#### 問 1：文化に対して関心はありますか。（全体及び魚津市在住）

| 選択肢 | 全体 件数 | 全体 割合 | 在住 件数 | 在住 割合 |
|---|---|---|---|---|
| とても関心がある | 310 | 50.7% | 73 | 35.3% |
| やや関心がある | 204 | 33.3% | 90 | 43.5% |
| どちらともいえない | 66 | 10.8% | 29 | 14.0% |
| あまり関心がない | 29 | 4.7% | 13 | 6.3% |
| まったく関心がない | 3 | 0.5% | 2 | 1.0% |

| 考察 |
|---|
| 全体では『とても関心がある』が半数超（50.7%）を占めるのに対し、魚津市在住者では35.3%となっています。その分、在住者では『やや関心がある（43.5%）』が高くなっており、関心自体の総数（いずれかに関心がある）は全体で84.0%、在住者で78.8%と、ともに高いベースを維持しています。 |

#### 問 2：魚津市は、文化の豊かなまちであると思いますか。（全体及び魚津市在住）

| 選択肢 | 全体 件数 | 全体 割合 | 在住 件数 | 在住 割合 |
|---|---|---|---|---|
| そう思う | 187 | 30.6% | 34 | 16.9% |
| ややそう思う | 222 | 36.3% | 86 | 42.0% |
| どちらともいえない | 132 | 21.6% | 44 | 21.3% |
| あまり思わない | 62 | 10.1% | 38 | 18.4% |
| 思わない | 9 | 1.5% | 5 | 2.4% |

| 考察 |
|---|
| 『そう思う』の割合において、全体（30.6%）と在住者（16.9%）で約14ポイントの大幅な開きが見られます。<br>日々の生活のなかで文化的な豊かさを実感する機会が、市外からの評価に比べてやや少なめである現状がうかがえます。 |

## 問３：本市で行われている次の文化イベントや活動について、ご存じであるものを選択してください。（複数回答可）

| 回答選択肢 | 回答数（件） |
|---|---|
| 音楽・舞台芸術（新川文化ホール、学びの森音楽祭等） | 498 |
| 伝統文化・祭り（たてもん祭り、蝶六踊り等） | 401 |
| 博物館・自然体験（水族館や埋没林博物館でイベント等） | 330 |
| 市民文化・生涯学習活動（文化祭、生涯学習フェスティバル等） | 252 |
| 美術・芸術イベント（美術展、ART/X/TOYAMA等） | 193 |

| 考察 |
|---|
| 新川文化ホールや学びの森音楽祭を含む「音楽・舞台芸術（498件）」の認知度が最も高く、次いで「伝統文化・祭り（401件）」が続いています。地域に根ざしたイベントや拠点施設が市民に広く浸透していることがうかがえます。今後は認知度が比較的低いイベント等への情報発信のあり方を検討していくことが考えられます。 |

## 問４：この１年間に以下の文化芸術の鑑賞又は活動（演奏・演技・創作など）をしましたか。（複数回答可）

| 回答選択肢 | 回答数（件） |
|---|---|
| 音楽・舞台芸術 | 401 |
| 伝統文化・祭り | 215 |
| 美術・創作活動 | 162 |
| 特にない | 116 |
| 生活文化（茶道・華道等） | 78 |
| その他 | 7 |

| 考察 |
|---|
| 実際の行動として「音楽・舞台芸術（401件）」が最も高く、鑑賞や活動の主軸となっています。「特にない」と答えた層も116件存在することから、これまで文化芸術に触れる機会が少なかった層に対しても、参加のハードルを下げるアプローチが必要です。 |

## 問５：文化鑑賞や活動をするうえで、妨げとなっていることはありますか。（複数回答可）

| 回答選択肢 | 回答数（件） |
|---|---|
| 時間がない | 242 |
| 情報やきっかけがない | 224 |
| 費用負担が大きい | 173 |
| 特にない | 132 |
| 内容や場所が自分に合わない | 96 |
| その他 | 30 |

| 考察 |
|---|
| 「時間がない（242件）」が最も高いですが、「情報やきっかけがない（224件）」も僅差で続いています。市民がアクセスしやすい情報発信（SNSの活用やポータル化など）を行うことで、時間的な制約を抱える市民に対しても効率的に「きっかけ」を提供できる余地が大きいと考えられます。 |

## 問６：次の施策のうち重要だと思うものを選択してください。（複数回答可）

| 回答選択肢 | 回答数（件） |
|---|---|
| 子ども・若者の文化育成 | 406 |
| 文化鑑賞機会の充実 | 386 |
| 文化活動の参加機会の充実 | 373 |
| 文化団体・活動基盤の支援 | 328 |
| 伝統文化・文化財の保存活用 | 295 |

| 考察 |
|---|
| 「子ども・若者の文化育成（406件）」への期待が最も高く、次世代への継承や教育的側面に高い関心が集まっています。また、鑑賞（386件）と参加（373件）の機会充実も僅差で並んでおり、バランスの良い文化施策の推進が望まれています。 |

## 問７：次の取組例について重要だと思うものを選択してください。（複数回答可）

| 回答選択肢 | 回答数（件） |
|---|---|
| 誰もが参加しやすいイベントの充実（低料金・身近等） | 469 |
| 子どもや初心者への文化体験機会の充実 | 372 |
| 文化活動を支える環境整備（練習場所・マッチング等） | 364 |
| 郷土文化の保存継承・人材育成 | 249 |
| 学校・福祉施設等へのアウトリーチの充実 | 246 |
| その他 | 13 |

| 考察 |
|---|
| 「誰もが参加しやすいイベントの充実（469件）」が最も高く、問5で挙げられた「情報・きっかけ不足」「費用負担」といった課題を解消し、誰もが気軽に参加できる機会の充実が求められていることがうかがえます。 |

## 自由記載の内容について（参考意見）

| 分類 | 件数 | 割合（%） | 主な意見の傾向 |
|---|---|---|---|
| ①体験・鑑賞 | 68 | 11% | ・地域住民や県外からの訪問者によるイベント鑑賞の満足度が高い<br>・コンサートや伝統芸能の増加を増やしてほしい<br>・コンサートで心を癒せる体験やもっと気軽に音楽に触れたい |
| ②活動・創造 | 75 | 12% | ・子供や若者の芸術文化体験の場の提供<br>・短期間の教室や体験型の活動<br>・活動場所の不足や新たなジャンルの講座開催 |
| ③施設・インフラ | 109 | 18% | ・「学びの森交流館」の存続の希望<br>・利用料金やアクセス性の改善、コスト削減や運営形態の工夫に関する提案 |
| ④情報発信・広報 | 35 | 6% | ・これまでの施策の認知度不足への不満<br>・SNSや地域全体を巻き込んだ効果的な情報発信 |
| ⑤地域資源・伝統 | 25 | 4% | ・地域資源（たてもん祭りなど）の保存・発信<br>・地域全体での文化施策としての取り組み強化 |

方針の位置づけ

## 1　市の計画（第５次総合計画）

魚津市第５次魚津市総合計画では、「誰もが学び豊かな心を育てるまちづくり」のもと、「芸術文化・スポーツの振興」を施策として位置づけ、芸術文化活動への参加促進や文化に直接ふれる機会の充実を目指しています。文化推進方針は、総合計画が掲げる芸術文化振興の方向性を踏まえ、文化芸術の鑑賞・活動支援、担い手育成、文化資源の保存・活用などを体系化し、具体的な文化施策を総合的に推進するための指針として位置づけます。

## 2　教育委員会の計画（第３期魚津市教育振興基本計画）

第３期魚津市教育振興基本計画は、第５次魚津市総合計画の教育分野における部門別計画として、「生涯に通じた学びの推進と芸術文化やスポーツに親しむ機会の充実」を図りながら、地域社会とつながり活躍できる環境づくりを目指しています。文化推進方針は、この方向性と整合を図りながら、文化芸術にふれる機会の充実、豊かな感性や創造性の育成、文化活動の支援、地域文化の継承など、文化分野の施策を具体化する指針として位置づけます。

## 3　方針内容の見直し等

本方針は、2027 年度（令和９年度）から実施します。なお、社会情勢や市民ニーズ等の変化を踏まえ、必要に応じて方針内容の見直しを行います。
また、本方針に基づく年度ごとの事業計画や取組状況については、「魚津市社会教育委員会議」において評価・検証を行い、その結果を今後の文化施策の推進に反映していきます。

魚津市文化推進方針について

## 1　策定の趣旨

人口減少や価値観の多様化が進む中、文化を通じた学びや交流を促進し、市民の文化活動を支える環境を整えるとともに、地域の文化や文化財を次世代へ継承し、文化を生かした魅力あるまちづくりを推進するため、魚津市文化推進方針を策定します。

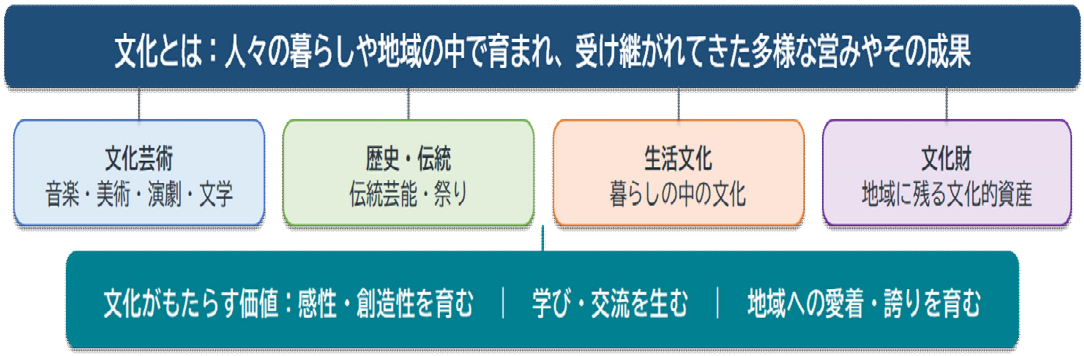
## 2　基本理念

**文化にふれ、育み活かすまち　うおづ**

文化にふれる機会を大切にし、市民一人ひとりの学びや文化活動を通じて文化を育むとともに、地域の文化や文化財を未来へ継承し、文化を生かした魅力と活力あるまちづくりを進めます。

## 3　本方針における文化の定義

本方針における「文化」とは、音楽、美術、演劇などの文化芸術をはじめ、地域に受け継がれてきた歴史、伝統芸能・祭り、生活文化、文化財など、人々の暮らしや地域の中で育まれ、受け継がれてきた多様な営みやその成果をいいます。




※文化の定義イメージ図

施策の体系

## 施策の体系


基本理念
文化にふれ、育み活かすまち うおづ
基本目標Ⅰ
方針1　生涯にわたり身近に文化芸術にふれ、豊かな感性と創造性を育む環境づくり
文化芸術に親しむ機会の充実
① 優れた文化芸術にふれる機会の充実
② 身近な文化芸術鑑賞環境の充実
基本目標Ⅱ
方針2　活動支援や発表・交流の充実による、文化芸術の担い手育成と次世代への継承
文化芸術活動の支援と次世代への継承
① 文化芸術を担う人材の育成と次世代への継承
② 文化芸術活動への支援の充実
③ 文化芸術活動の発表と交流の促進
基本目標Ⅲ
方針3　地域資源の保存・継承・活用、学びと魅力発信による地域活力の創出
地域資源の保存・活用等による地域活力の創出
① ふるさとの歴史や文化財の保存・継承・活用の推進
② 博物館の充実と魅力発信の推進

### 方針１　生涯にわたり身近に文化芸術にふれ、豊かな感性と創造性を育む環境づくり

## ① 優れた文化芸術にふれる機会の充実

### めざす姿

子どもたちが身近な場所で文化芸術にふれ、豊かな感性や創造性を育む機会が充実しています。

### 概要説明

舞台芸術や音楽の鑑賞会、アウトリーチ事業などを通じ、子どもたちが優れた芸術に直接ふれる機会を提供します。多様な文化芸術にふれる体験を通じて、将来にわたって文化芸術に親しむきっかけをつくります。

### 主な施策

- 子どもを対象とした文化芸術鑑賞機会の提供
- 学校や地域等における文化芸術アウトリーチの推進

### 推進のための役割分担

| | |
|---|---|
| 市が取り組むこと | ・プロの演奏家や芸術家、劇団などを招き、質の高い公演や展覧会を開催する。<br>・小中学校への芸術家によるアウトリーチ事業を実施し、子どもたちが優れた芸術に直接ふれる機会を提供する。また、子どもたちが文化祭等の行事に参加しやすい学校教育・地域行事との連携を図る。 |
| 市民・事業者が取り組むこと | ・公演やワークショップなどに参加・鑑賞し、文化芸術にふれる。<br>・地域の文化芸術活動への協賛や支援などを通じ、文化芸術の振興に参画する。 |

方針１　生涯にわたり身近に文化芸術にふれ、豊かな感性と創造性を育む環境づくり

## ② 身近な文化芸術鑑賞環境の充実

### めざす姿

市民が文化施設や身近な場所で、質の高い芸術を気軽に楽しめる環境が整っています。

### 概要説明

新川文化ホール等の施設を活用し、市民が日々の暮らしの中で気軽に文化芸術を鑑賞できる機会の充実を図ります。これまで文化芸術にふれる機会が少なかった人も含め、誰もが文化芸術に親しめる環境づくりを推進します。

### 主な施策

- 文化施設を活用した文化芸術鑑賞機会の充実
- 文化芸術のアウトリーチによる鑑賞機会の充実

### 推進のための役割分担

| | |
|---|---|
| 市が取り組むこと | ・新川文化ホールでのコンサート等をはじめ、コミュニティセンターや図書館など身近な施設におけるミニ公演やアウトリーチ事業を企画・実施する。<br>・障がいのある方や高齢者、子育て世代など、誰もが文化芸術にふれやすい鑑賞環境を整備する。 |
| 市民・事業者が取り組むこと | ・身近な場所で開催されるコンサートや展覧会などに積極的に参加・鑑賞する。<br>・地域の文化芸術活動への協賛や支援などを通じ、文化芸術の振興に参画する。 |

## 方針２　活動支援や発表・交流の充実による、文化芸術の担い手育成と次世代への継承

### ① 文化芸術を担う人材の育成と次世代への継承

#### めざす姿

　プロによる指導や地域での活動を通じて、次世代の担い手の育成が図られています。

#### 概要説明

　小中学校でのプロによる音楽指導を進めるとともに、地域の文化活動を未来へつなぐため、次世代を担う若い表現者や指導者の育成に取り組みます。

#### 主な施策

- 小中学校でのプロの指導者による音楽指導
- 地域での文化・伝統芸能等のサークル活動（コミュニティセンターにおける土曜教室等）

#### 推進のための役割分担

| | |
|---|---|
| 市が取り組むこと | ・経験豊かな活動者や指導者による技術などを次世代に継承する活動を支援する。<br>・学校や地域と文化活動者・指導者をつなぎ、次世代の担い手育成を推進する。 |
| 市民・事業者が取り組むこと | ・経験豊かな活動者や指導者が次世代（子どもたちや初心者）に技術や魅力を教え・伝える活動に参画する。<br>・学校教育や地域活動における外部指導者（ボランティア・講師）として協力する。 |

方針２　活動支援や発表・交流の充実による、文化芸術の担い手育成と次世代への継承

## ② 文化芸術活動への支援の充実

### めざす姿

文化芸術活動を行う人や団体への支援が充実し、継続的かつ意欲的に活動できる環境が整っています。

### 概要説明

文化芸術活動に対する補助金制度や活動場所の提供など、活動者を支える体制を整えます。文化芸術活動に取り組む人や団体が、安心して挑戦・活動できる基盤づくりを進めます。

### 主な施策

- 芸術文化活動支援事業補助金制度
- 芸術文化大会等出場奨励金制度
- 各種団体とのつながりを構築するための取組み（情報交換・連携体制の構築）
- 活動場所の確保

### 推進のための役割分担

| | |
|---|---|
| 市が取り組むこと | ・活動団体やサークル等の文化芸術活動を支援するとともに、国等の補助金制度の情報提供や申請手続等をサポートする。<br>・文化芸術活動を行う人や団体が、安心して練習・活動できる環境を整備する。<br>・市の広報媒体等を活用した情報発信や、広域的な PR を支援する。 |
| 市民・事業者が取り組むこと | ・団体等で主体的に文化芸術活動を継続し、各種支援制度等を活用して、活動の充実や発展につなげる。<br>・地域のアーティストの作品購入や公演への参加、協賛等を通じて、地域の文化芸術活動を支える。 |

方針２　活動支援や発表・交流の充実による、文化芸術の担い手育成と次世代への継承

## ③ 文化芸術活動の発表と交流の促進

### めざす姿

文化芸術活動の成果を発表し、市民同士が交流する機会が充実しています。

### 概要説明

文化芸術活動の成果を発表・発信する機会を提供するとともに、多様な表現者が集い、互いに学び合い、交流できる場の充実を図ります。

### 主な施策

- 魚津市民文化祭、魚津市美術展
- 地区文化祭
- 生涯学習フェスティバル

### 推進のための役割分担

| | |
|---|---|
| 市が取り組むこと | ・市民文化祭、市美術展など、文化団体や活動者が日頃の活動の成果を発表するとともに、市民が文化芸術にふれる場を提供する。<br>・市の広報媒体等を活用した情報発信や、広域的な PR を支援する。 |
| 市民・事業者が取り組むこと | ・自身の作品やパフォーマンスを積極的に発表・発信するとともに、分野を超えて他の活動者や市民と交流する。<br>・事業者は、主催・実施するイベント等に、地域の文化活動者が発表・参加できる機会を設けるなど、文化芸術分野との連携を進める。 |

方針３　地域資源の保存・継承・活用、学びと魅力発信による地域活力の創出

## ① ふるさとの歴史や文化財の保存・継承・活用の推進

### めざす姿

地域の貴重な文化財を次世代へつなぎ、まちの魅力として活かす取組みが行われています。

### 概要説明

地域にある貴重な文化財の価値を高め、適切な保存、維持・管理を行うとともに、郷土の宝をまちの魅力として活かす活動に取り組みます。

### 主な施策

- 地域に伝わる文化財調査の実施
- 地域の指定文化財等の保存と活用事業の推進

### 推進のための役割分担

| | |
|---|---|
| 市が取り組むこと | ・地域にある文化財の調査・研究を継続する。<br>・文化財の適切な修復やデジタルアーカイブ化を進めるとともに、市外の人や若い世代への普及啓発や技術の伝承、子どもたちへの郷土学習を推進する。<br>・地域の歴史を再発見できるソフト事業を企画する。 |
| 市民・事業者が取り組むこと | ・地域の伝統行事（祭りなど）に担い手やボランティア活動として参加し、保存・継承に貢献する。<br>・旅行業者や飲食店が、地域の歴史や自然等のストーリーを取り入れたツアー商品やメニューの開発に活用する。 |

方針３　地域資源の保存・継承・活用、学びと魅力発信による地域活力の創出

## ② 博物館の充実と魅力発信の推進

### めざす姿

　それぞれの博物館を活用した学びと地域の魅力を広く発信する活動が行われています。

### 概要説明

　歴史民俗博物館・埋没林博物館・水族博物館において、文化活動の背景にある魚津の歴史や自然に関する情報の蓄積、公開を推進していきます。
　各館がそれぞれの特色を活かした展示や体験学習等を企画、展開することで、市民が学び、考える場を提供します。
　市民や観光客が地域の歴史や自然を楽しみながら学ぶことで、地域の魅力を広く発信する活動を支援します。

### 主な施策

- ３つの博物館において、特色ある展示や体験学習等を実施する

### 推進のための役割分担

| | |
|---|---|
| 市が取り組むこと | ・魚津の歴史、自然、文化（埋没林や蜃気楼など）を学べる魅力的な展示会や体験学習の充実を図る。<br>・学校や関係団体と連携した、市内外への積極的な情報発信と学習機会の提供を行う。 |
| 市民・事業者が取り組むこと | ・地域の歴史や特色についての学びを博物館で深め、その魅力を広める。<br>・博物館と連携した調査・研究、体験学習、ボランティア活動への参加のほか、運営サポートとして関わる等、交流の場として活用する。 |